

選挙の事務従事に

高校生の登用は

質問

来年（平成22年）4月には市議会議員選挙が実施される。平成17年に合併以来、各種選挙のたびに、佐織、立田、八開地区の市民の方々から、各地区の庁舎で期日前投票があったが実施に至っていない。住民サービスや投票率アップのためにも、各庁舎から本庁舎までの交通手段の確保を提案したいがいかがか。

総務部長

本年9月から、新しい巡回バスのコースとして庁舎間ルートを増発している。このバスの利用をお願いしたい。

質問

平成18年4月に実施された市議会議員選挙と、本年4月の市長選挙の人員費は。

総務部長

市議選は、1千126万5千79円、市長選は同時に市議補選も行われ人員費としては、1千34万4千336円の支出をした。

質問

今後の選挙事務の経費削減の対策は。

総務部長

取り入れられる範囲内で人材派遣を利用して、経費削減

に努力する。

質問

静岡市では、早くから選挙への関心を持ってもらうために、選挙事務の従事に高校生を登用している。

総務省は、若年層の低投票率が続いており、問題なく活用できれば、選挙に対する意識啓発の一つの有効な手段になると、関心を寄せているが、本市で高校生登用の考えは。

市長

時期尚早という考えを持っているが、いろんな条件的なことなどを勉強して検討する。



小沢 照子 議員



農地の確保と有効利用は

質問

市内の各地区の遊休農地の面積と、前回調査後の増減は。

経済建設部長

増減については4件（佐屋1件、立田2件、八開1件）が改善されて変わった。前回の数字から差し引くと、佐屋1万4千136㎡、立田2万9千513㎡、八開2万3千590㎡、佐織3万7千593㎡。合計、10万4千832㎡。

質問

改正農地法は、農業委員会の役割の強化が言われている。施行前と後の農業委員の強化の変化はあるか。

経済課長

前に比べて今回の方がしっかりと農地を見渡せ（監視しなさい）ということが強く言われている。

質問

行政として、農地の集積で何か計画を立てておられるか。

経済課長

現在のところ大豆・麦が主流になっており、他のことは考えていない。